



暦の上では春到来、気温も高めで北陸も雪が少ないです

昭和肥料ニュース

FAX版

今年も暖冬傾向です。気象庁の予報（向こう3ヶ月間）では、地域によって寒の戻りの可能性もありますが、平年並～平年以上の気温推移となっております。

暖冬は諸要因が複雑に絡むため、専門家でも原因が分からないそうです。農業に携わる者は原因より、まずは「備え有る」ように心を配るべき局面です。

暖冬年の備えは万全ですか？

高温傾向が続くと作物生育が通常より早まります。一方で日照（太陽高度）は暦どおりですので、作物の充実が悪く、軟弱な生育になることが予想されます。春の強風や病害虫の多発、寒の戻りなどへの備えも兼ねて以下ご留意ください。

【暖冬年の備え心得】

①「気温よりも地温の確保」を意識し、焦って作付けしない。

※早い作付けが必ずしも秀品に繋がらないことは篤農家様ほど良くご存じです。

②根が充実できる環境を整える（地温確保、pH矯正実施、排水性の確保）

※頭寒足熱が健康に良いイメージで「根部優先の生育に障害無し」です。

降水不足、多雨いずれにも強い根張りで備えましょう

③肥料の「PKを少し多め」に施用しておく（PKは切らさない）

※りん酸不足→作物の基礎体力の低下 加里不足→高温や干ばつに弱くなる
土壌診断を基に不足するようなら、PKをチョイ足しをお勧めします。

④苗作りを万全にする（育苗、定植を行う作物では苗半作以上）

※使い慣れた培土を使用する。根張り強化系資材の使用もお勧めします。

弊社硫酸カルシウム資材の使用も根張り強化にお役立てください。

円滑な納品のためにご協力お願いします

暖冬傾向を受けて、弊社ではお客様のお引取が平年以上に早いように感じます。

ご希望の納期に間に合うように懸命に作っておりますが、これからの時期は特にオーダーが集中するため納品をお待たせすることも予想されます。

今年は平年以上に余裕を持った、早めのオーダーをいただければと有難いです。何卒よろしくお願いします。

【シリカジャック】

NET15kg

りん酸、加里を
それぞれ10%保証！

更にけい酸、アルカリ分、苦土、ほう素、微量要素など幅広い栄養補給ができます。

異常気象の備えにも
お勧めです。

